

交通安全対策
県では、市町村その他関係機関および団体等と密接な連携をとりながら総合的な交通安全対策を推進してまいります。

交通安全総合対策

千九百九十六万円

交通安全対策の充実強化に努め、市町村、事業所および団体を網羅した県民総ぐるみの交通事故防止運動を強力に展開します。

交通安全教育推進

九百四十三万円

交通安全思想を県民全体のものとして拡げていくため、交通安全指導者を育成するほか幼児・母親・老人等いわゆる交通弱者を守る安全教育を実施します。

通学路等緊急安全施設整備

五千七百五十万円

通園・通学路の交通診断を実施し、緊急に設置を要する安全施設を整備します。

交通安全施設整備

三十七億七千三百八十六万円

歩道・自転車道・ガードレール・反射鏡・信号機・道路標識・路面標示などを年次計画に即して整備します。

交通安全事故被害者対策
交通事故当事者間の円滑な解決への専門的な助言および指導を行うことにより相談に応じるほか、県下一円の巡回相談を行います。

交通安全施設整備

七百九十五万円

「歩道と車道の分離」「安全な道路」を目標に年次計画にそって、歩道、自転車道、ガードレール、反射鏡などを設置します。

交通安全施設整備

二十六億五千二百八十四万円

市町村消防設備の科学化・近代化を促進するとともに地震対策計画策定のための調査を実施し、防災対策の充実強化をはかるほか、消防学校移転新設のための用地造成、実施設計を行います。

防災対策

地震災害対策計画の策定について、昭和五十三年度から着手し、地質・地盤など基礎調査を実施してきたが、本年度は、地震部会を設け引き続き本県の地震に関する調査研究を行い防災対策の強化を図ります。

防災用高速ファクシミリ装置設置
防災消防業務に関する情報の収集、伝達の迅速化・適確化等を図るため、自治省消防庁と本県を結ぶ高速ファクシミリ装置を設置し防災体制の充実強化を図ります。

消防防力強化促進

千九百四十五万円

建築物の高層化・複雑化に伴う火災の多様化、自動車事故等特殊災害の増加に対処するため、はしご付消防ポンプ自動車、救助工作車等消防設備の近代化を図ります。

消防防力強化促進

九千九百一十万円

現下の治安情勢に対処するため、警察関係につきましては、警察官四十名を増員しますほか、機動力の増強をはじめ装備器材の整備充実をはかるとともに、日夜治安維持の任にあたる警察職員の勤務環境の整備を図ることにしています。

警察施設設備の充実

九千九百一十万円

警察官四十名の増員
九千四百四十九万円
☆バトカー・白バイなど車両九台の増強
二千四百四十一万円
☆防弾チョッキの購入
四百七十七万円
☆青北警察署庁舎建設
二億五千三百八十三万円
☆警察署庁舎暖冷房設置
一億五千九百七十七万円
☆派出所・駐在所の建設十一か所
九千九百一十万円



石油の大幅値上げと卸売物価の上昇が続く中で、雇用不安もまた依然として続いており勤労者を取り巻く環境はまことに厳しいものがあります。このため労働環境の改善、雇用の増大と勤労者の福祉の向上に努め、楽しく働ける生活環境と魅力ある職場づくりを推進するため次の事業を実施します。

中小企業労働対策事業の推進
中小企業に従事する勤労者の福祉向上のため、中小企業労働改善集団が行う事業に助成するとともに、労働相談、指導資料の発行の事業を行います。

中小企業労働対策事業の推進

千六百九十七万円

勤労者の生活資金や住宅資金の融資を円滑にするため、労働金庫に対し一億八千万円の貸し付けを行うとともに、特に未組織労働者が労働金庫からの借入れを容易にするため、熊本県勤労者信用基金協会に対し五千万円の貸付けを行います。

中小企業労働者金融対策

二億三千万円

中小零細企業に働く勤労者のうち、賃金の遅欠配又は、一時帰休のため生活に困窮している者を対象に、労働金庫を窓口として生活資金を貸し付けます。

中小企業従業員住宅建設

二億四千三百二十万円

中小企業で働く従業員の住宅難を緩和するため、県が中小企業従業員住宅を建設し、これを中小企業主に貸し付けます。

職業相談の強化

五百八十九万円

中高年齢者、身体障害者、特定不況業種離職者等を取りまく雇用失業情勢が厳しいので、不況地域における公共職業安定所に職業相談員を増加配置し、再就職相談の円滑化を図ることにしています。

職業安定所の相談コーナー

三千五百九十三万円

職業安定所の相談コーナー（熊本市）



職業安定所の相談コーナー（熊本市）